

海外安全対策情報

【定期報告：1月～3月】

在ケープタウン領事事務所

1 西ケープ州における犯罪傾向

- (1) 昨年のクリスマスシーズンより、中～大型ショッピング施設を狙った武装強盗事件が徐々に増加傾向にあるとの報道がなされた。
- (2) ケープタウンの観光地であるライオンズヘッドやシグナルヒルでは、人が少ない明け方や夜に観光客や登山客を狙った事件が発生している。
- (3) 在ケープタウン領事事務所管轄地域の2015年1月～3月における邦人に対する被害の報告件数は1件であった。

2 殺人・強盗等凶悪犯罪の事例

(1) 殺人

ア 邦人被害者情報なし。

その他被害事件

イ 邦人被害者情報なし。

(2) 強盗

邦人被害

ア 邦人被害者情報なし。

その他の被害事件

イ 邦人被害者情報なし。

(3) 強姦

ア 邦人被害者情報なし。

(4) その他

ア 1月2日、50～60代と見られる白人男性の遺体がケープタウン市フィッシュフックで発見された。男性は海水浴の格好で倒れており、原因は不明だが、警察は遺体の状況から事件の可能性が高いと見ている。

イ 1月4日、ケープタウン市ブローバーグにある人気レストランで拳銃を用いた武装強

盗事件が起きた。6人の男が閉業時間の直後に店内に押し入り、残っていた従業員から金品及び車を奪い逃走した。付近では、その3週間前にも同様の事件がレストランで起きている。

ウ 1月18日午後10時頃、ケープタウン市グランドパレード地区で40代と見られる外国人男性の遺体が見つかった。男性は刃物で刺された跡があり、携帯電話と金品を奪われていた。

エ 1月19日、ケープタウンメトロレール（南アフリカ旅客鉄道）の車内で殺人未遂事件が起きた。白人男性が車内で強盗に囲まれ、突然ナイフによる斬りつけ及びスタンガンで失神させられた。男性は携帯などの貴重品類を奪われた。メトロレールでは他にも頻繁に犯罪が起きており、利用客からは全般的なセキュリティの欠陥を指摘されている。

オ 1月21日の午前中にケープタウン市キャンプスベイで2人組の宝石店武装強盗が発生した。店は開店準備中で、怪我人は出なかった。犯行当日の直近15日間で同様の事件が3件市内でも起きている。

カ 2月8日午前9時頃、ケープタウン市コンスタンシアでハイキングをしていた2人組の男性がナイフと巨大なナタを持った20歳前後と見られる2人の青年に襲われた。犯人らはハイキングトレイルの草陰に隠れて、登山客らを待ち伏せしていた。

キ 2月17日、ケープタウン市クレアモントの商業施設、カベンディッシュスクエアの宝石店で2人の男が拳銃を用い、店内の貴金属を奪っていった。怪我人はいなかった。

ク 3月11日午後7時頃、邦人観光客がガーデンルートのスチームズリバーにあるバックパッカー宿でパスポートや現金の入ったポーチを盗まれた。

3 テロ・爆弾事件発生状況

特になし。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

特になし。

5 対日感情

概ね良好。

6 日系企業の安全に関する諸問題

特になし。

7 日本人安全対策のためにとった具体的措置

(1) 在留邦人へのお知らせ等の発出

不定期ながらも、安全対策に役立つ情報を当事務所より「領事事務所からのお知らせ」としてメールを発出し、在留邦人に対して安全対策情報を発信している。

(2) その他の措置

常日頃より、当地在住の邦人等との意見交換を行い、当地での生活の安全情報の収集に努めている。